

## 主題について

### ねらいとする価値

個性とは個人特有の特徴や性格であると言われている。ここでいう特徴とは、他者と比較して特に自分の目立つ点と捉えている。それは、長所だけでなく、短所も含むものである。自分の特徴をよい方向に伸ばしていけばそれは長所となり、苦手なこととして改善を図らなければ短所となることもある。したがって、自分の特徴を知ることとはその両面を見いだすことと言える。自分のよさは自分自身では分からないことも少なくない。他者から指摘されて気付いたり、実感したりすることも多い。

個性の伸長に関わる指導を行う際には、長所を伸ばすようにすることはもちろんであるが、短所についてもしっかりと受け止め、努力によって望ましい方向へ改め、自分のよさを一層生かし更にそれを伸ばしていけるように配慮することが大切である。

### 児童の実態

- ① 児童はこれまでに「公正、公平」の内容項目で、自分の好みや都合だけで相手に不公平な態度をとらず、誰に対しても分け隔てなく接することの大切さについて気付いており、友達をよく知ることが大事だと考えている。
- ② 本学級の児童は、おとなしい児童が多く、自信の無さから声が小さく、反応も薄い。また、クラス替えをしてすぐに新型コロナの影響で臨時休校に入ったため、人間関係も構築しきれず、お互いの特徴やよさに気付いて、認め合えるまでになっていない。
- ③ 道徳科の時間では、自分の考えを述べるができる児童もいるが、自分の考えはもちながら友達の考えを聞くことに終始している児童の方が多い。

## 教材について

うめのき村の4人兄弟がそれぞれの長所や能力を発揮して協力することによって嵐から村を守ることができた。そして一人一人の活躍ぶりについて父親から大いに褒めてもらえたという話である。

4人兄弟の特徴や長所を生かして活躍する姿を通して、自分や友達の長所を考え、互いに見付け合い、認め合って、その長所を伸ばそうするきっかけになれる教材である。

## 考え、議論する道徳科の時間を充実させるために

### ○ 道徳的価値を捉え、自己の生き方を深める発問の工夫

導入では、「『人の長所』についてどんなことがありますか。」という問いを投げかけ、児童が長所に対するイメージを膨らませることを通して、ねらいとする価値への方向付けを行う。

展開前段では、4人兄弟の特徴やよいところを、場面絵を利用して簡単に説明しながら整理する。そして嵐が来た時、4人がそれぞれ自分の特徴やよさを生かしてどんなことを考えながら行動したのか考えさせることで、自分の得意なことが役立ち、それぞれが協力したから村を守れたことに気付かせたい。また、そのことを父親に褒めてもらえたことで満足感や達成感に繋がっていることに気付かせるようにしたい。

展開後段では、自分自身の特徴やよさについて見つめさせる。その際、事前にアンケートをとっておき、自分を見つめる補助とする。自分の特徴の中で、短所に思えることも見方を変えれば長所になる事にも気付かせたい。さらに、友達同士で互いのよさをメッセージカードに書いて交換し合うことで、自分が気付かなかつたよさを自覚させ、感想を交流し合うことで、互いに認め合う心地よさを感じさせたい。

### ○ 特別活動と道徳科の授業を関連させ、体験活動を生かした道徳科学習プログラムの作成

「花さき山」の学習後から、帰りの会で、友達のよさや優しさについて、みんなが咲かせた花として、紹介し合い、教室に掲示している。その花がどんどん大きな花になることで、視覚的によいことが増え、成長していることに気付かせたい。また、校内で行われる「よいところ見つけ」の活動とつなげて、自分自身の成長や学年・学級・友達のよさを見付け、全校で紹介されることで、児童の自己肯定感を高めていきたい。さらには、自分のよさを生かした学級の係活動を進めていく意欲につなげていきたい。

## 本時の学習

### (1) 本時のねらい

うめのき村の四人兄弟の特徴やよさを生かして協力し村を助けた話から、自分や友達の長所を考え、互いに見付け合い、認め合って、その長所を伸ばそうとする心情を育てる。

### (2) 本時の学習展開

過程	学習活動 ○主な発問 ●中心発問 ・予想される児童の心の動き	◇指導上の留意事項 □道徳科学習プログラムとの関連 □発問の工夫 *評価
導入	1 「人の長所」について考え、長所に対するイメージを膨らませる。 ○「人の長所」としてどんなことがありますか。 ・思いやりがあって優しい。 ・真面目で努力家。 ・運動が得意。	◇人の長所について、イメージを膨らませることで、本時のねらいとする価値への方向付けを行う。(T1)
展開前段	<div style="border: 1px solid black; text-align: center; margin: 0 auto; width: fit-content; padding: 5px;">自分の長所に気付き伸ばそう。</div> 2 「うめのき村の四人兄弟」を読んで考える。 ○4人の特徴やよいところはどこでしょう。 <いちろうた> ・体が大きく力持ち。 ・進んで行動できる。 <じろうた> ・細かいことが好き。器用。 ・きちんと仕上げることができる。 <さぶろうた> ・動物となかよしで気持ちがわかる。 <しろうた> ・落ち着いていてあわてない。 ・自然をよく知っている。  ○嵐が来た時、4人はどんなことを考えながら行動したでしょうか。 <いちろうた> ・水があふれたら村が水浸しになる。土のうをどんどん積み重ねなければ。 <じろうた> ・家が壊されたら大変だ。しっかり板を打ち付けよう。	◇挿絵を提示しながら、登場人物の特徴やよさを確認し、どのように活躍するのか考えられるようにする。(T2)  ◇4人の特徴や、それぞれの特徴に合った自分の役割を懸命に果たそうとしている思いに気付かせる。

	<p>&lt;さぶろうた&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・動物たち、怖いだらう。大丈夫だよ。</li> </ul> <p>&lt;しろうた&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・早く嵐がすぎないかな。一生懸命頑張っているみんなにうれしいおにぎりをたくさん作らなくちゃ。</li> </ul> <p>●おとうに褒められたときどんな気持ちになったでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちの得意なことが役立ってよかった。</li> <li>・4人で協力したことで、村を守れてよかった。</li> <li>・これからも、よさを生かして協力していこう。</li> </ul>	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px;"> <p><b>□発問の工夫（共感的な発問）</b></p> <p>自分の特徴や長所を生かすことが、村を守るために役割を果たそうとしている行動につながることに気付かせたい。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・じろうたがいしろうたの仕事をしたらどうだったでしょう。（補助発問：投影的）</li> <li>・お父さんがお話のように役割を与えたのはなぜでしょう。（補助発問：分析的）</li> </ul> <p>* 自分の得意なことを生かして4人で協力して村を守れたことや父親に褒められたことで、満足感や充実感に繋がっていることに気付いたか。（発言）</p>
展 開 後 段	<p>3 自分の特徴について考える。</p> <p>○自分はどんな特徴がありますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・走るのが得意</li> <li>・きれいに字を書く。</li> <li>・友達に優しくできる。</li> <li>・落ち着きがない。</li> <li>・おっとり</li> </ul> <p>4 互いのよさを認め合う。</p> <p>○友達のよいところをメッセージカードに書いて教えてあげよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・○○さんは思いやりのある人です。泣いているときに、なぐさめてくれて元気付けられました。</li> <li>・○○君は優しい人です。困っている時、声をかけてくれて助かりました。</li> <li>・○○君は、楽しい人です。クラスみんなを笑わせてくれます。</li> <li>・○○さんは努力家です。休憩時間に逆上がりの練習を頑張っていました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 事前に自分の特徴についてアンケートをとっておき、自分自身を見つめる補助とする。</li> <li>◇ 自分の特徴で短所と見えるところも見方を変えれば長所になることに気付かせるようにする。</li> <li>・落ち着きがない⇒時間を大切にする。</li> <li>・おっとり⇒落ち着いている。 など</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px;"> <p><b>□道徳科学習プログラムとの関連</b></p> <p>帰りの会で伝え合っている「今日の花」の内容から、日々の生活の中にたくさん友達のよさがあることに気付かせ、行動の価値付けをしていくことで、次への意欲につなげていく。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 班の人に必ず書いて全員がもらえるように配慮し、貰ったときの気持ちも交流できるようにする。</li> </ul>
終 末	<p>5 本時の学習を振り返る。</p> <p>○今日の学習の振り返りを書きましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 「メッセージカード」をもらった感想を書かせ、自分自身の長所を自覚させ、互いに認め合うよさについて感じ方や考え方を深めるようにする。</li> </ul>

テーマ 自分の長所に気付いてのばそう

〈くちまじう〉

● **どんなことを考えながら行動したでしょう。**

いちろうた



- ・力持ち
- ・進んでやる

- ・むらをすくいたい
- ・自分の力で土のうを

じろうた



- ・ていねいな仕事
- ・器用

- ・ぜったいにとばされないように
- ・とくいなことで役立つ

さぶろうた



- ・動物となかよし
- ・気持ちがわかる

- ・動物のことならまかせて
- ・こわがらせない

しろうた



- ・あわてない
- ・自ぜんをよく知る

- ・みんなのためにおいしいにぎりめしを作ろう

○ おとうにほめてもらったとき、どんな気持ちになったでしょう。

- ・自分たちの得意なことが役立ってよかった。
- ・四人で協力したことで、村を守れてよかった。
- ・これからも、よさを生かして協力していこう。

○ 自分のとくちまじうについて見つめよう。

- ・走るのが得意
- ・きれいに字を書く。
- ・友達に優しくできる。
- ・落ち着きがない。↓ 時間を有効に使う。
- ・おっとり ↓ 落ち着いている。

〈メッセージカードをもらった感想〉

- ・自分にはあまりいいところがないと思っていたけど、たくさんあってうれしい。
- ・自分のよさをみとめてもらえてうれしかった。
- ・みんなでメッセージカードをこうかんできて楽しかった。また見つけ合いたい。

(4) 板書計画